

－出版物の紹介－

山のデータブック[第1集]

編集・発行 NPO法人 山のECHO

2006年7月1日第1刷 価格;2,600円

－最新データを分析すると、山岳事情のいまが見えてくる－
散在している山のデータを収集・計測することはこれからの
山の利用・施設整備などでは欠かすことが出来ないとの視点
から発刊された。

編集後記

前米国副大統領アル・ゴア氏が語りかける映画「不都合な真実」が評判です。判りやすく地球温暖化への危機を訴えてくれます。彼が米国大統領になったら世界は変わっていただろうか？などと、ふっと思ったりします。

今年の暖冬は東北・北陸地方の豪雪地帯まで、過去に経験がないほど雪が少ないようです。このような年は夏季の水不足が心配になります。山々の春の訪れは早いでしょうか。もうすぐ、残雪の量を気にするような季節が巡ってきます。

そんな中、例年通り「山のトイレを考えるフォーラム」が開催されます。今年で8回目となりますが、継続することが一番重要と、多くの皆さんのお力添えで頑張っています。

資料集の原稿依頼は余裕のある時間で、と思うのですがなかなか思うにまかせません。快諾して頂いた皆様に本当に感謝しています。今回も盛りだくさんの第二部資料編となりました。

利尻富士町の須間さんには4年続けて熱心な利尻山のトイレ対策を紹介頂きました。日高山脈ファンクラブの高橋さんからは、昨年に続いて全国の登山者が関心を寄せる幌尻山荘トイレ改善の活動紹介です。上川支庁の大道さんにはご苦労されている黒岳バイオトイレ運用状況を紹介頂きました。皆さんお忙しい中、ありがとうございました。

例年と同じように既発表文の紹介も掲載出来ました。静岡県自然保護室の、森下さんからは富士山のトイレ整備と維持管理の貴重な報文を頂きました。早池峰の今を永田さんの和賀川水系だよりから紹介できました。利尻町の佐藤さんによる「利尻山山岳環境史の再構築への試み」は力作で読み応え充分です。富山県・立山での携帯トイレを、山と溪谷社の金子さんが追跡してくれています。転載を快く御了解頂きました皆さん、厚くお礼申し上げます。

今回のフォーラムを機に、山のトイレを考える会の代表は、横須賀邦子から岩村和彦へ替わります。横須賀さん長い間、御苦労さまでした。新しい代表の岩村さんは通称 gan さんで通る有名人です。バイタリティー溢れる人です。荷物もいっぱい担げます。変わらぬご支援をお願い致します。

この8回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役に立てるようにと願っています。 (小枝正人)

禁複製